



# H3C WA6630X アクセスポイント 設置ガイド

**Copyright © 2021, New H3C Technologies Co., Ltd. およびそのライセンス供給会社が著作権所有。**

### **すべての権利を留保**

New H3C Technologies Co., Ltdの書面による事前の同意なしに、このマニュアルのいかなる部分も、いかなる形式または手段によっても複製または配布することはできません。

### **商標**

New H3C Technologies Co., Ltdの商標を除き、本書に記載されている商標は、それぞれの所有者に帰属します。

### **通知**

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。記述、情報、および推奨事項を含む、このドキュメントのすべての内容は正確であることに万全を期していますが、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証をおこなうものではありません。H3Cは、ここに含まれる技術的または編集上の誤りまたは脱落について責任を負わないものとします。

### **環境保護**

この製品は、環境保護要件に準拠するように設計されています。この製品の保管、使用、および廃棄は、適用される国内法および規制を満たしている必要があります。

# はじめに

この設置ガイドでは、H3C WA6630Xアクセスポイントの設置手順について説明します。ここでは、このマニュアルに関する次のトピックについて説明します。

- 対象ユーザー
- 表記規則
- マニュアルに関するフィードバック

## 対象ユーザー

このマニュアルは、次の読者を対象としています。

- ネットワークプランナー
- フィールドテクニカルサポートおよびサービスエンジニア
- WA6630Xアクセスポイントを使用するネットワーク管理者

## 表記規則

ここでは、このマニュアルで使用されている表記法について説明します。



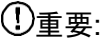

### コマンドの表記法

規約	説明
<b>ボールド体</b>	太字のテキストは、表示されているとおりに入力したコマンドおよびキーワードを表します。
<i>イタリック</i>	斜体テキストは、実際の値に置き換える引数を表します。
[]	角カッコは、オプションの構文選択(キーワードまたは引数)を囲みます。
{x y   ...}	中カッコは、必要な構文選択のセットを縦棒で区切って囲み、その中から1つを選択します。
[x y.   ...]	角カッコは、オプションの構文選択のセットを縦棒で区切って囲みます。この中から1つを選択するか、何も選択しません。
{x y   ...}*	中カッコで囲まれたアスタリスクは、必要な構文選択のセットを縦棒で区切って囲みます。この中から少なくとも1つを選択します。
[x y.   ...]*	アスタリスクでマークされた角カッコは、オプションの構文選択を縦棒で区切って囲みます。この中から、1つの選択、複数の選択、またはなしを選択できます。
&<1-n>	アンパサンド(&)記号の前の引数またはキーワードと引数の組み合わせは、1回からn回まで入力できます。
#	シャープ(#)記号で始まる行はコメントです。













### GUIの表記法

規約	説明
<b>ボールド体</b>	ウィンドウ名、ボタン名、フィールド名およびメニュー・アイテムは、太字で表示されます。たとえば、New user ウィンドウが開き、OKをクリックします。
>	複数レベルのメニューは、山括弧で区切られています。たとえば、File>Create>Folder

## 記号

規約	説明
 警告!	重要な情報に注意を喚起する警告であり、理解または従わないと、人身事故につながる可能性があります。
 注意:	重要な情報に注意を喚起するアラート。この情報を理解しない、またはこの情報に従わないと、データの損失、データの破損、ハードウェアまたはソフトウェアの損傷につながる可能性があります。
 重要:	重要な情報への注意を喚起する警告。
注:	追加情報または補足情報を含むアラート。
 ヒント:	有用な情報を提供するアラート。

## ネットワークポロジのアイコン

規約	説明
	ルーター、スイッチ、ファイアウォールなどの汎用ネットワークデバイスを表します。
	ルーターやレイヤ3スイッチなどのルーティング可能なデバイスを表します。
	レイヤ2またはレイヤ3スイッチなどの汎用スイッチ、またはレイヤ2転送およびその他のレイヤ2機能をサポートするルーターを表します。
	アクセスコントローラ、統合有線WLANモジュール、または統合有線WLANスイッチ上のアクセスコントローラエンジンを表します。
	アクセスポイントを表します。
	ワイヤレスターミネータユニットを表します。
	ワイヤレスターミネータを表します。
	メッシュアクセスポイントを表します。
	全方向信号を表します。
	方向信号を表します。
	ファイアウォール、UTM、マルチサービスセキュリティゲートウェイ、ロードバランシングデバイスなどのセキュリティ製品を表します。
	ファイアウォール、ロードバランシング、NetStream、SSL VPN、IPS、またはACGモジュールなどのセキュリティモジュールを表します。

## 本書で提供されている例

このドキュメントの例では、使用しているデバイスとハードウェアモデル、構成、またはソフトウェアバージョンが異なるデバイスを使用している場合があります。ポート番号、サンプル出力、スクリーンショット、および例のその他の情報が、使用しているデバイスのもとは異なるのは正常です。

# マニュアルに関するフィードバック

製品ドキュメントに関するご意見は、[info@h3c.com](mailto:info@h3c.com)までEメールでお送りください。

ご意見に感謝いたします。

## 内容

<b>1 設置の準備</b> .....	<b>1</b>
設置場所の調査.....	1
設置場所の選定.....	1
温度および湿度の要件.....	1
電源装置.....	1
アースおよび雷保護.....	2
取り付けアクセサリ.....	3
設置ツール.....	4
<b>2 APの取り付け</b> .....	<b>5</b>
設置前の作業.....	5
設置フローチャート.....	6
APへのケーブルの接続.....	7
アース線の接続.....	8
保護カバーの取り付け.....	9
Ethernetケーブルの接続.....	10
APの取り付け.....	11
付属のポールマウントキットを使用したAPのポールマウント.....	11
オプションのポールマウントキットを使用したAPのポールマウント.....	14
バンドクランプを使用したAPのポールマウント.....	18
カスタムポールへのAPの取り付け.....	21
壁面へのAPの取り付け.....	23
パワーインジェクタへのAPの接続.....	25
2つの銅線アップリンクポートを使用したパワーインジェクタへのAPの接続.....	25
ファイバアップリンクポートを使用したパワーインジェクタへのAPの接続.....	26
ケーブルのラベル付け.....	26
設置の確認.....	26
APの電源投入.....	27
APのネットワークへの接続.....	27
<b>3 付録A 技術仕様</b> .....	<b>28</b>
<b>4 付録B LEDとポート</b> .....	<b>29</b>
LED.....	29
ポート.....	29

# 1 設置の準備

## △警告!

テクニカルエンジニアの指示に従ってAPを設置し、設置前にこの章をよくお読みください。

## 設置場所の調査

設置前に設置場所を調べて、APが良好な環境で動作することを確認します。

## 設置場所の選定

設置場所は、気象、水の特性、地質、地震、電力、輸送などを考慮して、通信設備のネットワーク計画や技術要件に応じて選定する必要があります。

次の原則に従って、設置場所を決定します。

- APは、高温、ほこり、有害なガス、電磁干渉源(高出力レーダー、無線局、または変電所)、不安定な電圧、激しい振動、大きなノイズにさらされてはいけません。
- 水がしみ出たり、浸かったり、結露したりしない場所。
- 引火性・爆発性の物質から離れた場所。
- APは、組み込みの全方向性アンテナを使用します。最適なカバレッジを実現するために、設置高さが5 m(16.40フィート)を超えず、APの周囲に障害物がないことを確認してください。

## 温度および湿度の要件

表1-1 温度および湿度要件

項目	仕様
動作時温度	-40°C～+65°C(-40°F～+149°F)
筐体温度	-40～+85°C(-40～+185°F)
動作時湿度	0%RH～100%RH、結露しないこと
保管時湿度	0%RH～100%RH、結露しないこと

## 電源装置

パワーインジェクタを使用して、APに電力を供給することができます。APにはパワーインジェクタは付属していません。H3Cパワーインジェクタを使用できます。接続方法については、「APとパワーインジェクタの接続」を参照してください。

# アースおよび雷保護

APは確実に接地されている必要があります。APの接地線、避雷器、電源コードのPE線、およびアンテナサポートの接地点が互いに分離され、良好な接触状態にあり、確実に接続され、腐食防止処理が施されていることを確認してください。

## 接地抵抗

通常、接地抵抗は5オーム未満、年間雷雨日数が20日未満の地域では10オーム未満であることが要求されます。接地導体として地中に埋設されたアングル鋼の場合、接地抵抗は10オーム未満であることが要求されます。接地抵抗が高い地域では、接地導体の周囲に塩水または抵抗低減剤を使用して接地抵抗を低減してください。

アース線の上部は、地面から0.7 m(2.30フィート)以上離れている必要があります。寒冷地では、アース線は凍結した土層の下に埋設する必要があります。

## 接地線

アース線がある場合は、黄色と緑色のアース線をアース線に接続します。アース線を作成するには、ケーブルの断面積が6 mm<sup>2</sup>(0.01 in<sup>2</sup>)以上で、長さが3 m(9.84 ft)以下であることを確認してください。

接地ストリップが利用できない場合は、接地導体として機能するように、アースに最低0.5 m(1.64フィート)の長さの山形鋼/鋼管を埋めます。垂鉛メッキが必要です。山形鋼の場合、サイズは50x50x5 mm(1.97x1.97x0.20インチ)以上である必要があります。鋼管の場合、壁の厚さは3.5 mm(0.14インチ)以上である必要があります。APの接地ケーブルを接地導体に溶接し、溶接継手に耐エロージョン処理を施します。断面積が6mm<sup>2</sup>(0.01 in<sup>2</sup>)以上の場合、接地ケーブルはできるだけ短くする必要があり、コイル状に巻いてはなりません。

APのすべての避雷器およびAPのピアデバイスの接地端子が確実に接地されていることを確認します。

## アース線

アース線は、アース用ネットとアース用ストリップを接続する金属製の導体です。APのアース線はアース用ストリップに接続する必要があります。アース線は30 m(98.43フィート)以下である必要があります。垂鉛でコーティングされた断面積40x4 mm(1.57x0.16インチ)または50x5 mm(1.97x0.20インチ)を推奨します。APのアースストリップとアース線を、35 mm<sup>2</sup>(0.05インチ<sup>2</sup>)の黄色と緑色のアースケーブルで接続するか、直接溶接します。溶接継手には腐食防止処理を施してください。

## 電源アース(AC)

保護接地(PE)付きの電源コードを使用してください。L線とN線だけの電源コードは使用しないでください。

## 避雷針

避雷用接地(避雷針の接地など)は、機器室の接地線に接続する必要があります。

避雷針は、APとそのアンテナを保護するのに十分な高さである必要があります。

平野部では避雷針の遮蔽角は45度未満、山間部や落雷部では遮蔽角は30度未満でなければならない。

## イーサネットケーブル

屋外での設置には、シールド付きツイストペアケーブルを使用してください。ケーブルの両端の機器が確実に接地されていることを確認してください。

金属チューブを使用する場合は、イーサネットケーブルの両端が確実に接地されていることを確認してください。



# 取り付けアクセサリ

図1-1に、APに付属の設置アクセサリを示します。図1-2に、ユーザーが準備する設置アクセサリを示します。

図1-1 APに付属の取り付けアクセサリ

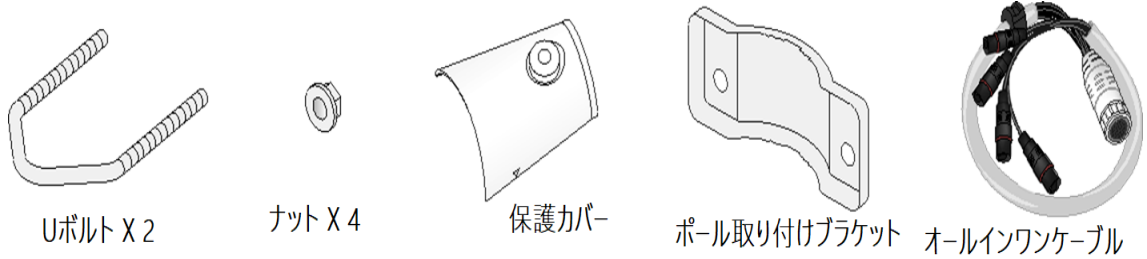
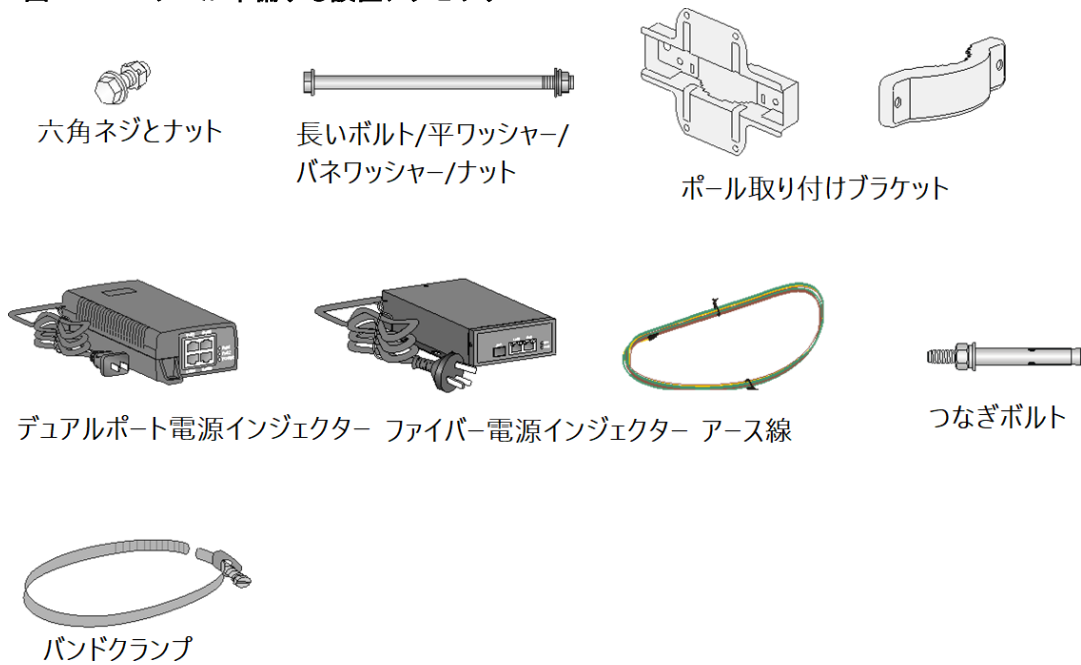


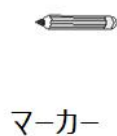
図1-2 ユーザーが準備する設置アクセサリ



# 設置ツール

APを設置するときに、次のツールが必要になる場合があります。必要に応じて、設置ツールを自ら準備します。

図1-3 設置ツール



## 2 APの取り付け

---

### ①重要:

- 無線カバレッジを確保するには、ベストプラクティスとして、技術担当者にAPを設置してもらいます。
  - APを柱または壁に取り付けて、ケーブルを柱または壁に配線することができます。  
以下の設置手順は説明のみを目的としています。
- 

APを設置する場合は、次の制約事項および注意事項に従ってください。

- APは大きくて重いので、設置中にけがや装置の損傷を受けないようにしてください。
- APを柱に取り付ける場合は、柱が地面に対して垂直であり、鉄製コンポーネントが腐食防止処理されていることを確認します。
- APを建物の上部にポールマウントする場合は、APが建物の側面から突き出していないことを確認します。
- 日光による高温を避けるため、APは直射日光の当たらない場所または少ない場所に設置し、必要に応じて保護措置を講じてください。

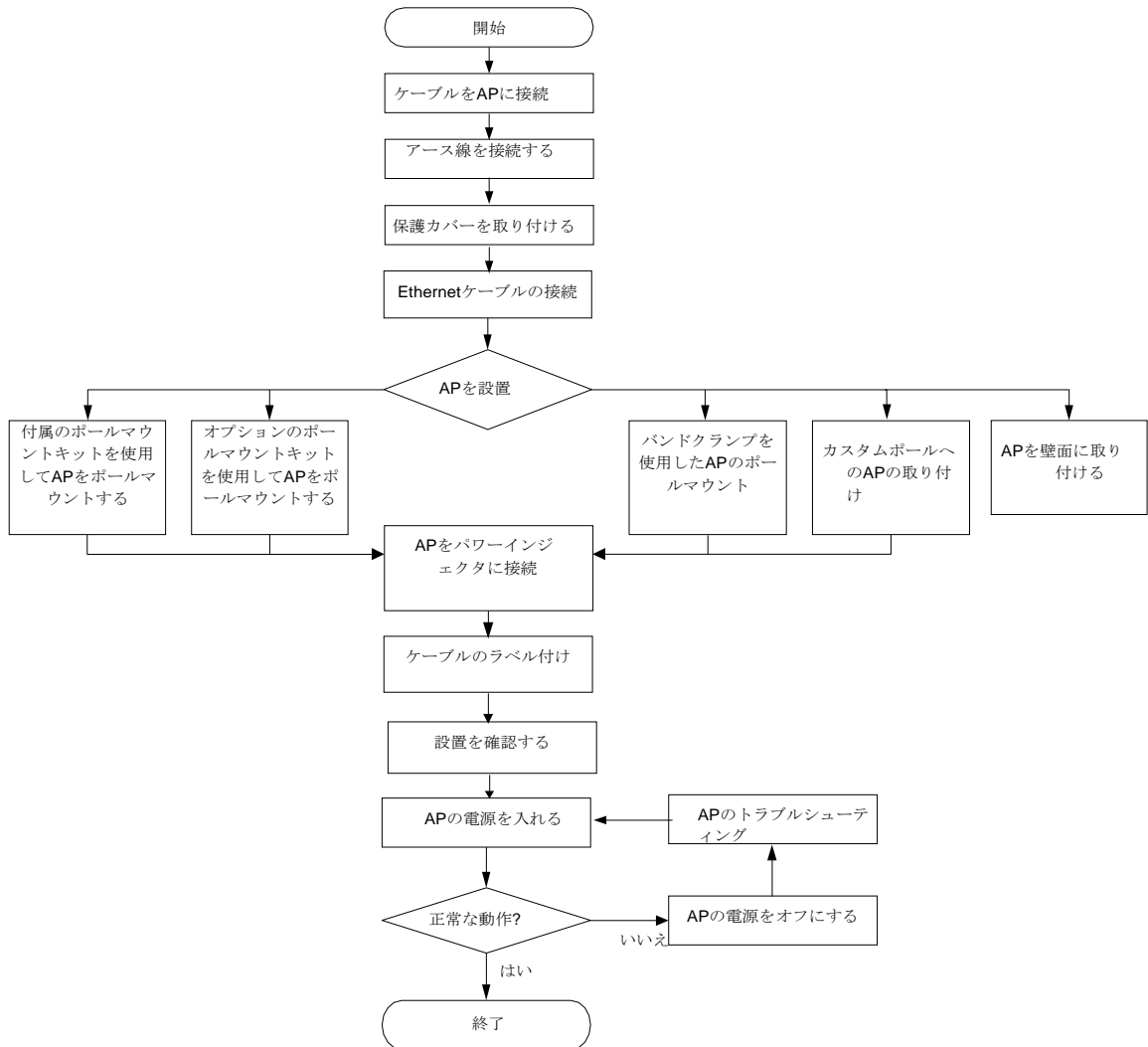
## 設置前の作業

APを設置する前に、次の作業を実行します。

- APを電源とネットワークに接続します。LEDを調べて、APが正常に動作していることを確認します。AP LEDの詳細については、「付録B LEDとポート」を参照してください。
- 設置場所での配線が完了していることを確認します。
- 後で参照できるように、APの背面に表示されているAPのMACアドレスとシリアル番号を記録します

# 設置フローチャート

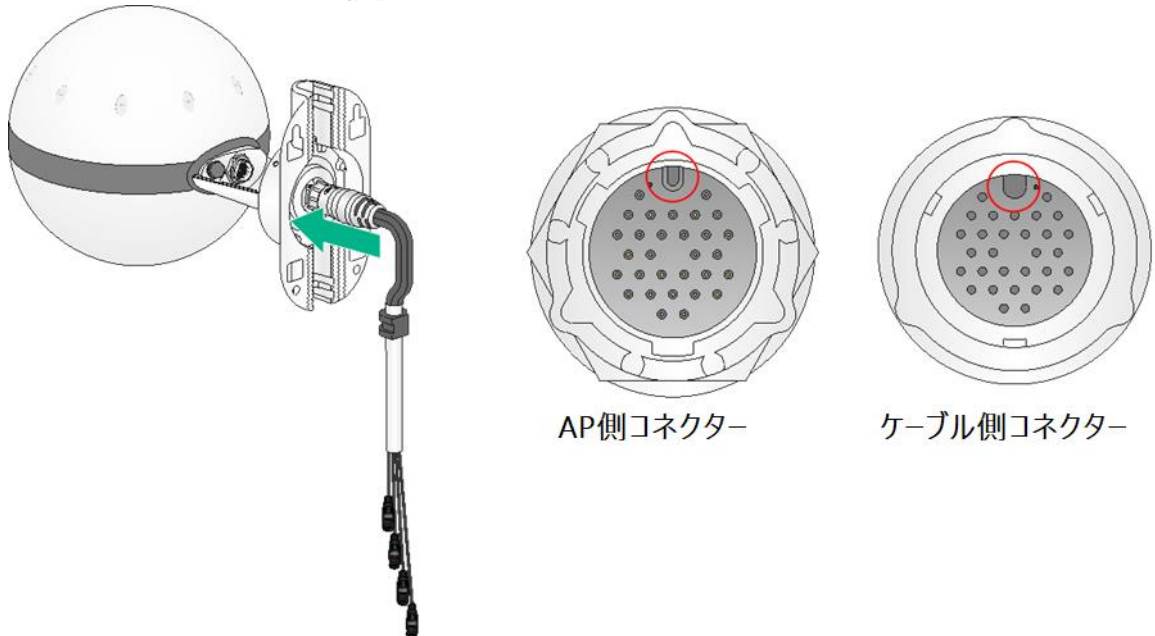
図2-1 設置フローチャート



# APへのケーブルの接続

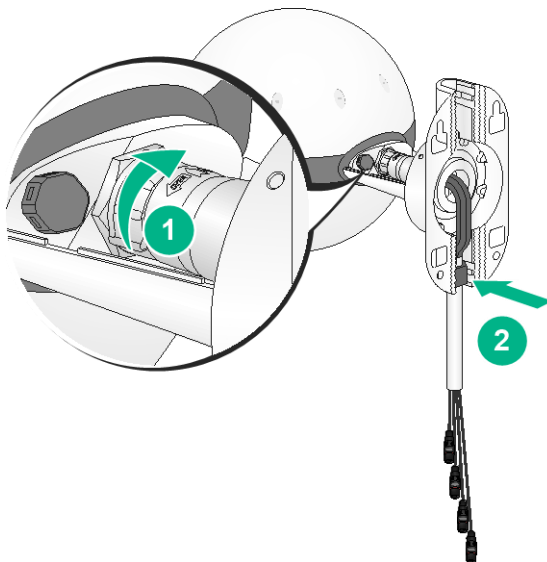
1. ケーブルをAPのベースに通します。
2. ケーブル側コネクタの溝とAP側コネクタの突起を合わせ、ケーブルをAPのコネクタに接続します。

図2-2 APへのケーブルの接続



3. シーリングナットを締め、ケーブルクリップを使用してケーブルをAPのベースに固定します。

図2-3 APへのケーブルの固定



# アース線の接続

## △注意:

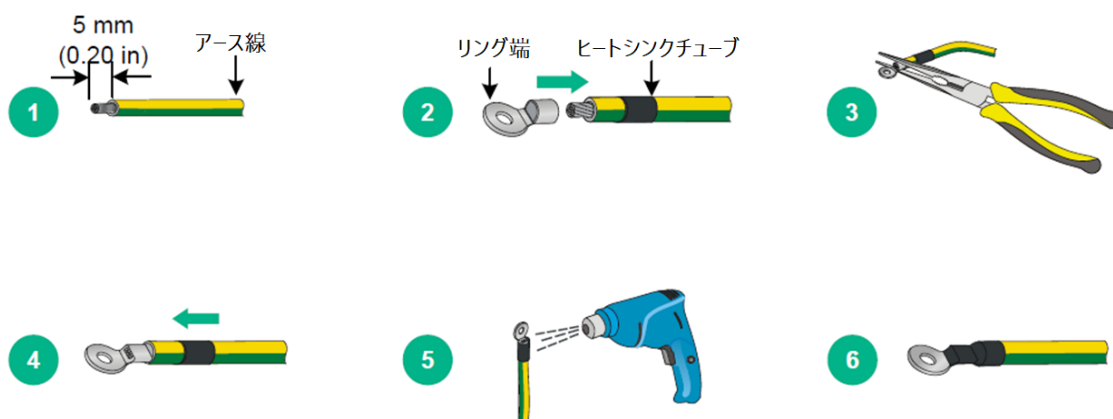
- 接地ケーブルを正しく接続することは、雷保護とEMI保護にとって非常に重要です。
- APを電源に接続する前に、アースケーブルが正しく接続されていることを確認します。

APIにはアースケーブルは付属していません。自ら用意してください。

アースケーブルをAPに接続するには、次の手順に従います。

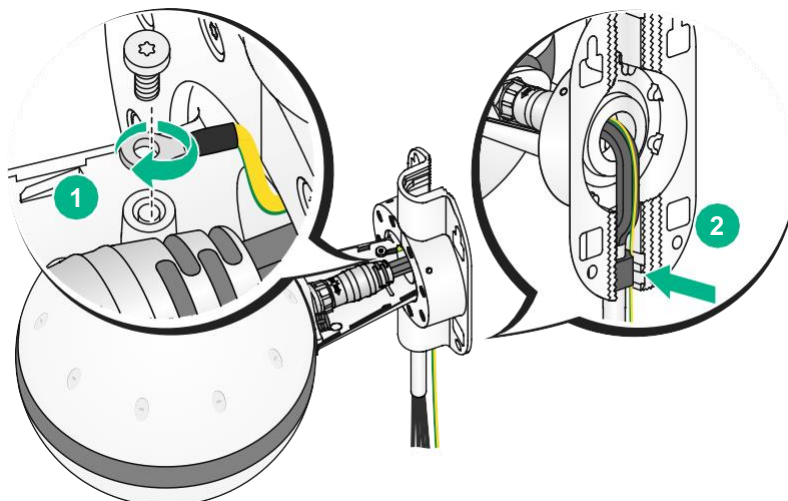
1. リング端子をアースケーブルに接続します。

図2-4 リング端子のアースケーブルへの取り付け



2. アースケーブルのリング端子側をベースに通してから、アースネジを使用してリング端子をAPのアースポイントに取り付けます。

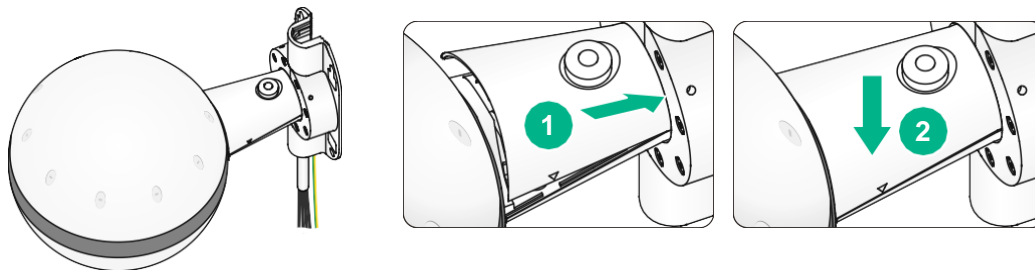
図2-5 APへのアースケーブルの接続



# 保護カバーの取り付け

保護カバーをベースに挿入し、カチッと音がするまでカバーを押し下げます。

図2-6 保護カバーの取り付け



# Ethernetケーブルの接続

## ❗重要:

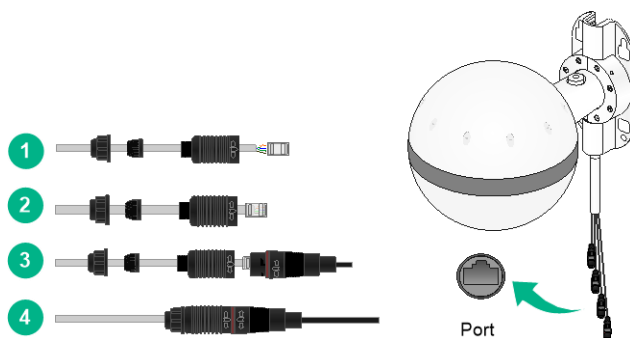
- カテゴリ5e以上のイーサネットケーブルのみを使用します。ベストプラクティスとして、シールド付きツイストペア(STP)ケーブルを使用します。
- All-in-Oneケーブルには、10GE/PoE++ポート、GE1ポート、GE2/PSEポート、コンソールポートの各ケーブルに1つのポートを持つ、ケーブル長の昇順のポートがあります。各ポートには識別用のラベルが付いています。ケーブルを接続する前に、ラベルを確認してイーサネットケーブルを正しく接続してください。
- 自動MDI/MDIXは、10 GE、GE1、およびGE2ポートでサポートされています

イーサネットケーブルをAPIに接続する前に、次のガイドラインをよくお読みください。

- ケーブリング設計に従ってケーブルを配線します。
- ケーブルは、交差したり、ねじれたり、ひび割れたりすることなく、しっかりときれいに配線してください。
- 電磁障害を避けるため、高圧線、消火管、避雷針などと一緒に配線しないでください。
- ケーブルの配線には、塩ビ管、鉄管、プリカ管またはケーブルトラフを使用します。ケーブルパイプおよびトラフを壁に対してきれいに配線し、バンドでホースまたはパイプジョイントを介して接続します。金属製チューブの場合は、ケーブルタイまたはアングル鋼を使用して1 m(3.28フィート)から1.5 m(4.92フィート)の間隔で固定し、両端を接地します。
- 屋外でPVCパイプを水平に配線する場合は、水が溜まらないように、6 m(19.69フィート)ごとにPVCパイプの下部に開口部を切ります。
- 壁のケーブル配線用の穴は、防水および難燃性の材料で密閉します。イーサネットケーブルを接続するには、次の手順に従います。

1. 防水コネクタとシールナットを分解し、コネクタにケーブルを通します。
2. RJ-45コネクタをケーブルに接続し、ケーブルテスターを使用してケーブルをテストします。
3. イーサネットケーブルを、APIに接続されているケーブルのターゲットポートに接続します。
4. シールナットと防水コネクタを固定します。

図2-7 Ethernetケーブルの接続





# APの取り付け

通常、APを柱に取り付けて、建物の屋上に設置できます。

## 付属のポールマウントキットを使用したAPのポールマウント

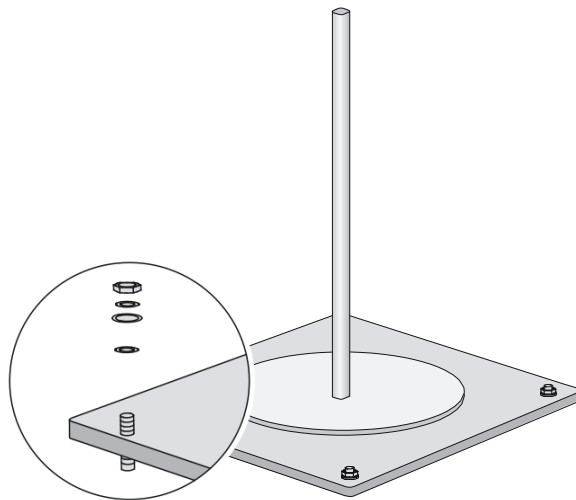
### ❗重要:

APに付属のポールマウントキットを使用してAPをポールマウントするには、ポールの直径が50～75 mm(1.97～2.95インチ)の範囲にあることを確認します。

### 垂直支柱へのAPの取り付け

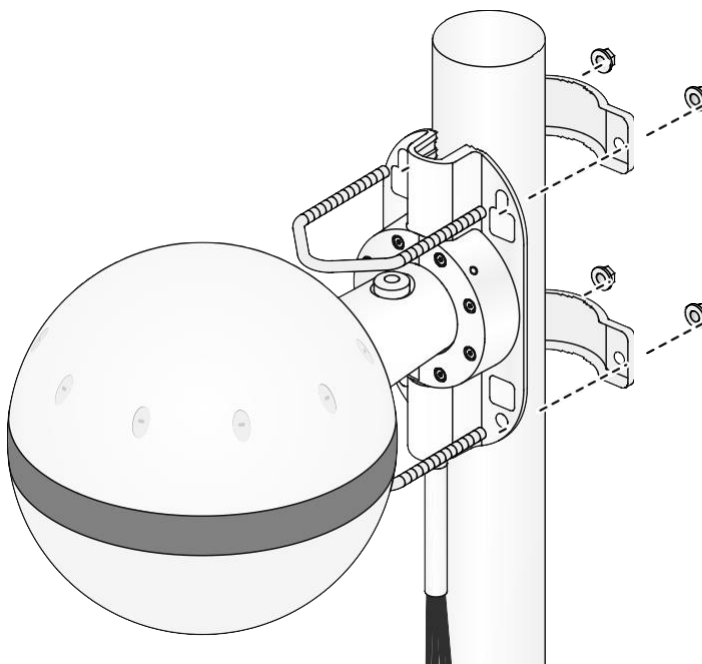
1. 柱の基部は、拡張ボルトを使用して、屋根上またはコンクリートのピアブロックに固定します。

図2-8 ポールベースの固定



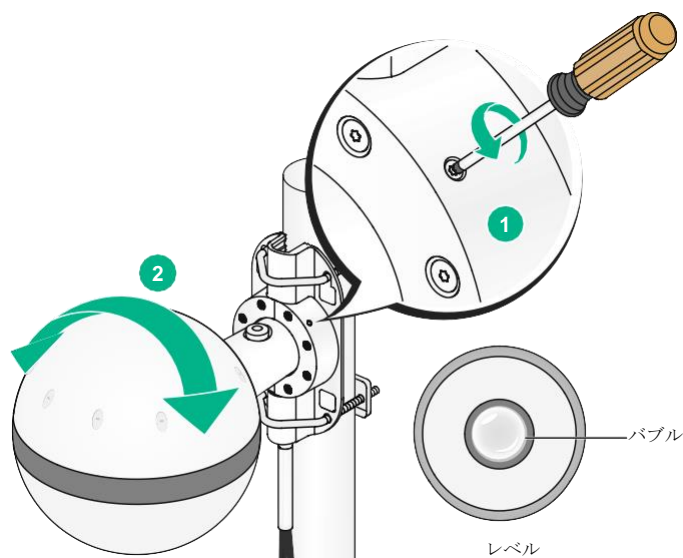
2. APに付属のUボルトと支柱取り付けブラケットを使用して、APを支柱に取り付け、ナットを締めます。

図2-9 APを垂直支柱に固定する



3. 図2-10の1で示すように、T8トルクスドライバーを使用してベースの2本のネジを緩め、APが回転できるようにします。
4. レベル内の通芯記号が中央に来るまでAPを回転および調整します。
5. ベースの2本のネジを締めて、APの回転軸を固定します。

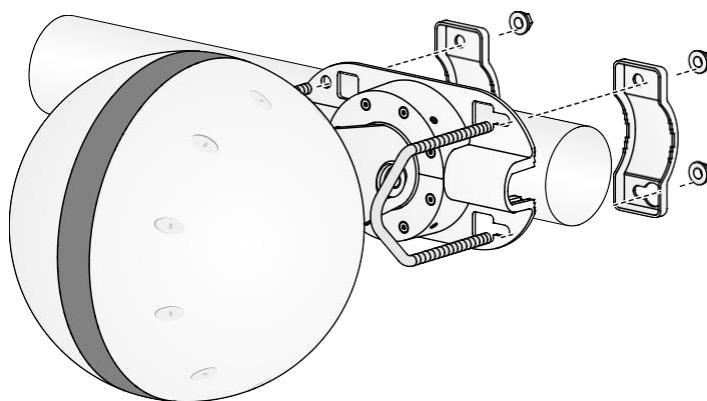
図2-10 APの調整



### 水平支柱へのAPの取り付け

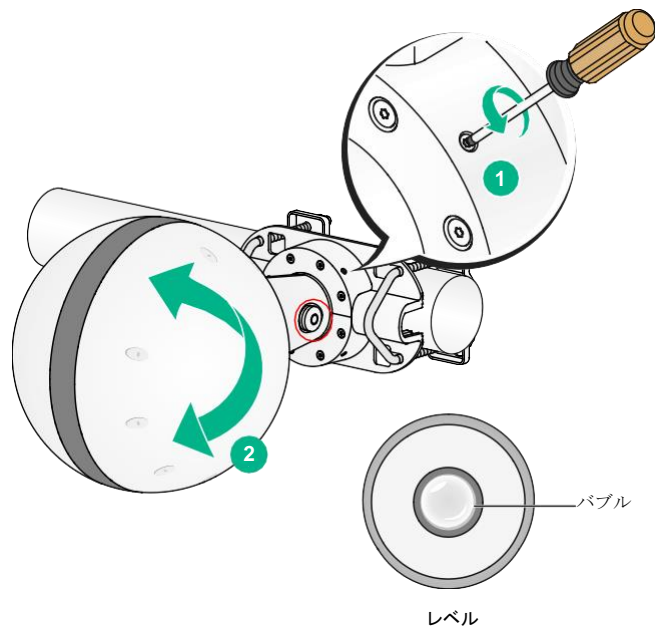
1. APに付属のUボルトと支柱取り付けブラケットを使用して、APを支柱に取り付け、ナットを締めます。

図2-11 APを水平の支柱に固定する



2. 図2-12の1で示すように、T8トルクスドライバーを使用してベースの2本のネジを緩め、APが回転できるようにします。
3. レベル内の通芯記号が中央に来るまでAPを回転および調整します。
4. ベースの2本のネジを締めて、APの回転軸を固定します。

図2-12 APの調整



# オプションのポールマウントキットを使用したAPのポールマウント

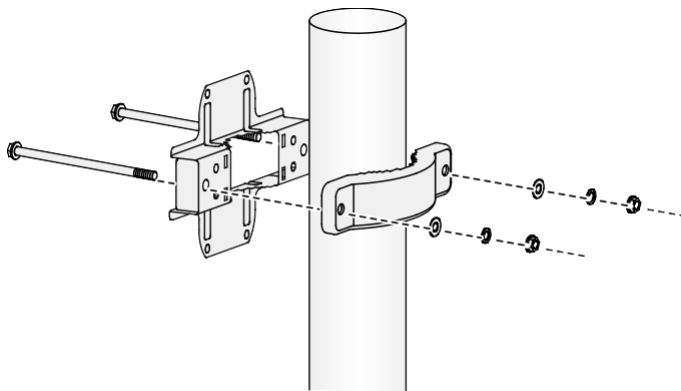
## ❗重要:

オプションの支柱取り付けキットを使用してAPを支柱に取り付けるには、支柱の直径が65～200 mm(2.56～7.87インチ)の範囲にあることを確認します。

## 垂直支柱へのAPの取り付け

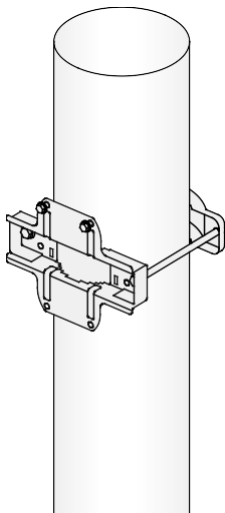
1. 長いボルトを使用して、柱取り付けブラケットを柱に固定します。

図2-13 ポール取り付けブラケットのポールへの固定



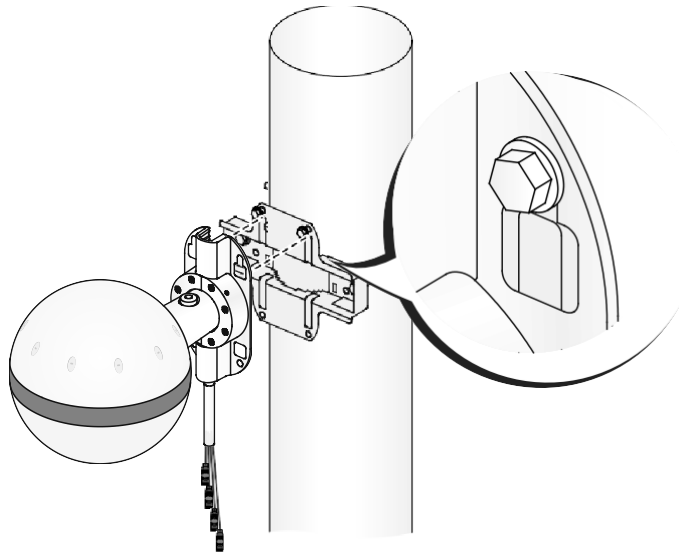
2. ポールブラケットの上部にある取り付け穴に、2本の六角ネジを差し込みます。APを固定するためのスペースを残して、ネジを完全に押し込まないでください。

図2-14 ポール取り付けブラケットへの六角ネジの挿入



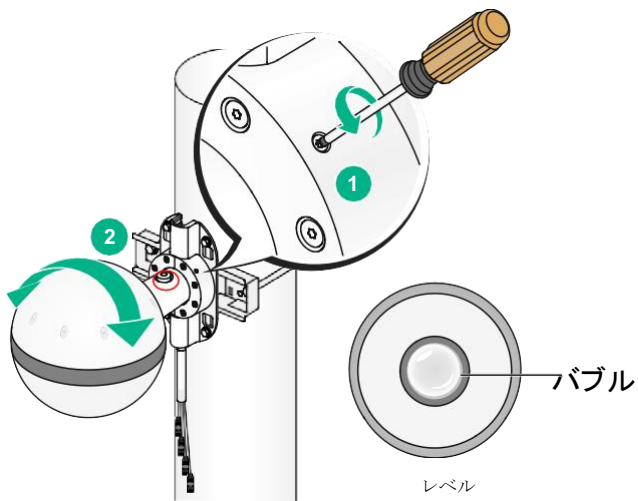
3. キー穴のスロットと六角ネジの位置を合わせてAPを支柱取り付けブラケットに吊り下げ、ネジを締めます。

図2-15 APをポールのAPの吊り下げ



4. 他の2本の六角ネジをAPベースの下部にある取り付け穴に挿入し、ネジを締めてAPを支柱取り付けブラケットに固定します。
5. 図2-16の1で示すように、T8トルクスドライバーを使用してベースの2本のネジを緩め、APが回転できるようにします。
6. レベル内の通芯記号が中央に来るまでAPを回転および調整します。
7. ベースの2本のネジを締めて、APの回転軸を固定します。

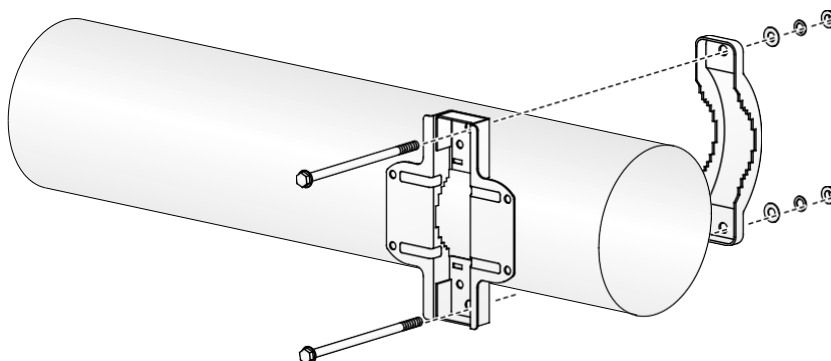
図2-16 APの調整



## 水平支柱へのAPの取り付け

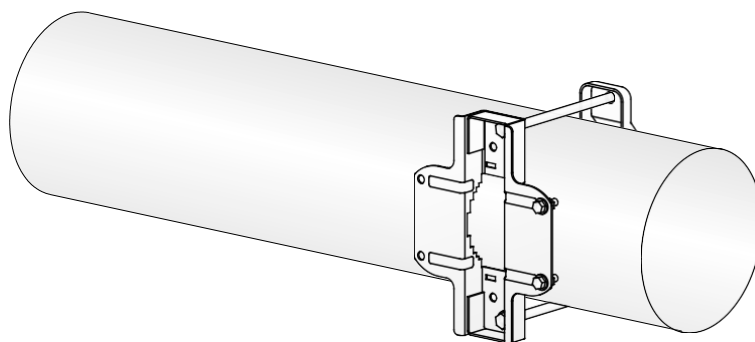
1. 長いボルトを使用して、柱取り付けブラケットを柱に固定します。

図2-17 支柱取り付けブラケットの支柱への固定



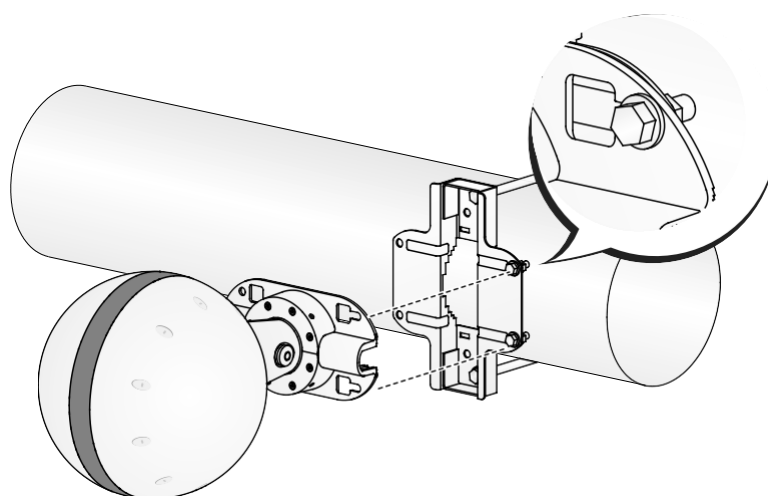
2. ブラケットの右側にある取り付け穴に2本の六角ネジを差し込みます。ネジを完全に押し込まないようにし、APを固定するためのスペースを残します。

図2-18 ポール取り付けブラケットへの六角ネジの挿入



3. キー穴のスロットと六角ネジの位置を合わせてAPを支柱取り付けブラケットに吊り下げ、ネジを締めます。

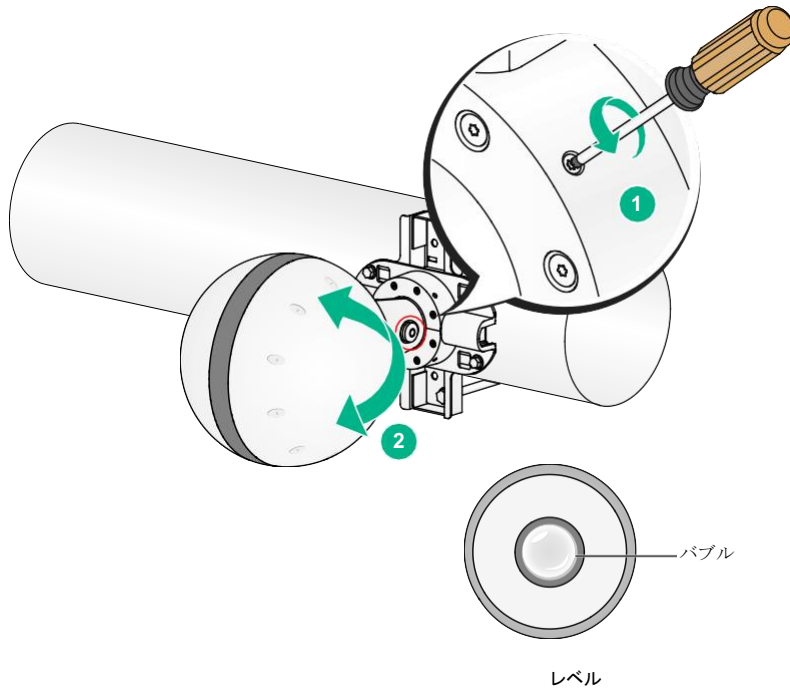
図2-19 ポールマウントブラケットへのAPの吊り下げ



4. 他の2本の六角ネジをAPベースの左側の取り付け穴に挿入し、ネジを締めてAPを支柱取り付けブラケットに固定します。

5. 図2-20のコールアウト1に示すように、T8トルクスドライバーを使用してベースの2本のネジを緩め、APが回転できるようにします。
6. レベル内の通芯記号が中央に来るまでAPを回転および調整します。
7. ベースの2本のネジを締めて、APの回転軸を固定します。

図2-20 APの調整



## バンドクランプを使用したAPのポールマウント

---

### ①重要:

バンドクランプを使用してAPをポールマウントする場合は、バンドクランプの直径がポールの直径より約20 mm(0.79インチ)大きいことを確認します。

APIは、幅12 mm(0.47インチ)のステンレスバンドクランプを使用してポールマウントできます。ポールの仕様は、バンドクランプの仕様によって異なります。

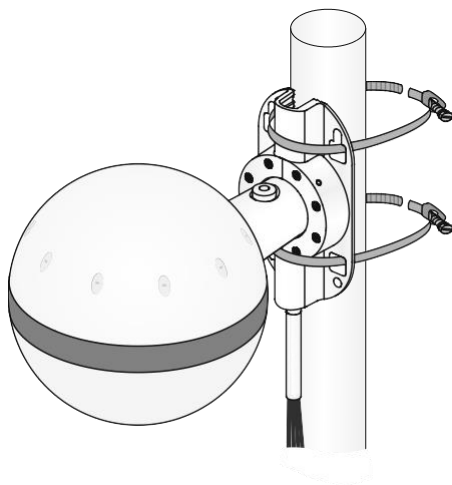
APIにはバンドクランプは付属していませんので、必要に応じてバンドクランプを購入してください。

---

### 垂直支柱へのAPの取り付け

1. 各バンドクランプのネジを緩めて、バンドクランプを開きます。バンドクランプをAPの取り付け穴を通してスライドさせ、クランプをポールに巻きます。

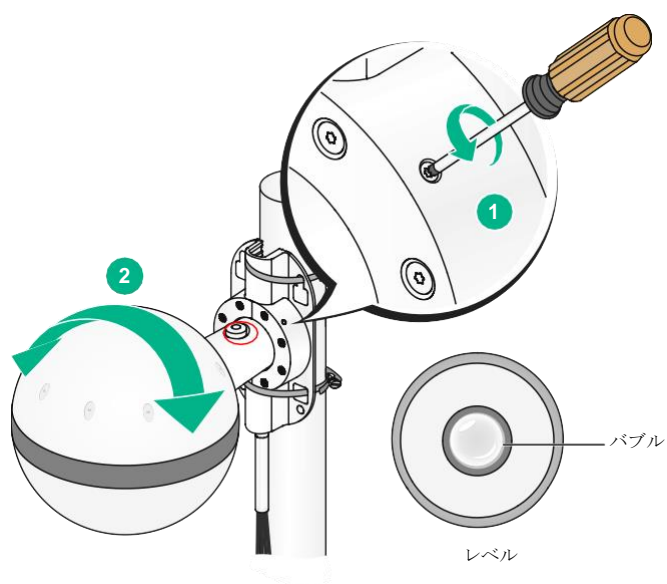
図2-21 バンドクランプの取り付け



2. 各バンドクランプのネジを締めて、APをポールに固定します。
3. 図2-22のコールアウト1に示すように、T8トルクスドライバーを使用してベースの2本のネジを緩め、APが回転できるようにします。
4. レベル内の通芯記号が中央に来るまでAPを回転および調整します。
5. ベースの2本のネジを締めて、APの回転軸を固定します。



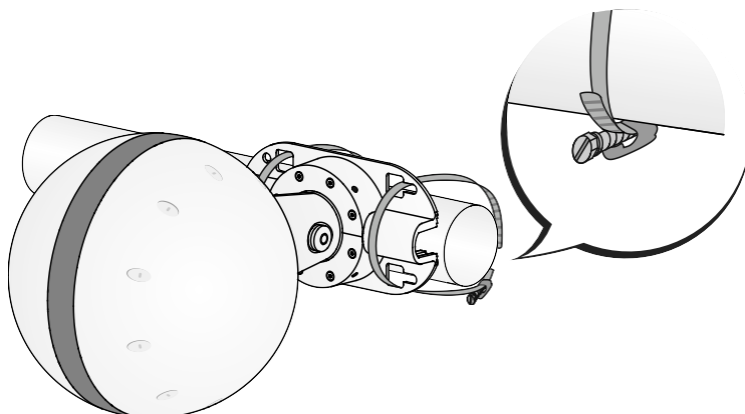
図2-22 APの調整



### 水平支柱へのAPの取り付け

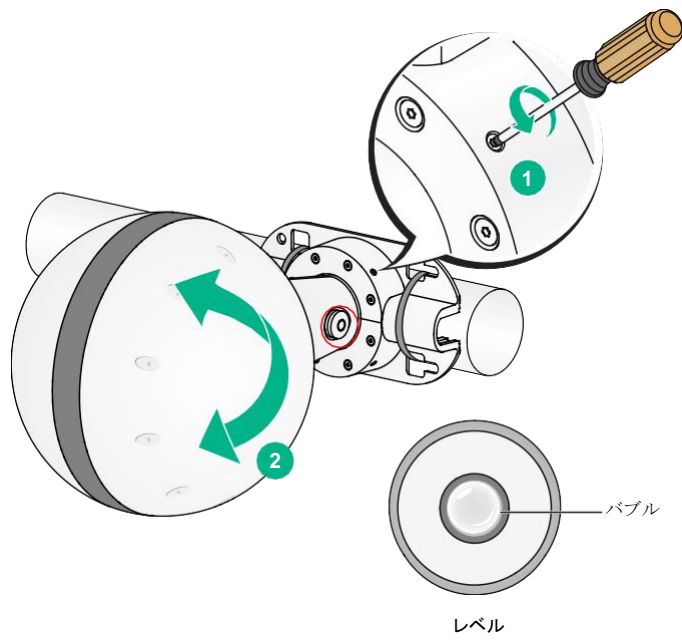
1. 各バンドクランプのネジを緩めて、バンドクランプを開きます。バンドクランプをAPの取り付け穴を通してスライドさせ、クランプをポールに巻きます。

図2-23 バンドクランプの取り付け



2. 各バンドクランプのネジを締めて、APをポールに固定します。
3. 図2-24のコールアウト1に示すように、T8トルクスドライバーを使用してベースの2本のネジを緩め、APが回転できるようにします。
4. レベル内の通芯記号が中央に来るまでAPを回転および調整します。
5. ベースの2本のネジを締めて、APの回転軸を固定します。

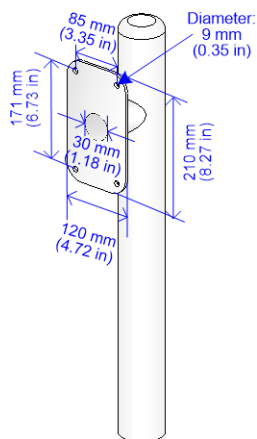
図2-24 APの調整



## カスタムポールへのAPの取り付け

APにはカスタムポールは付属していません。必要に応じて自ら用意してください。

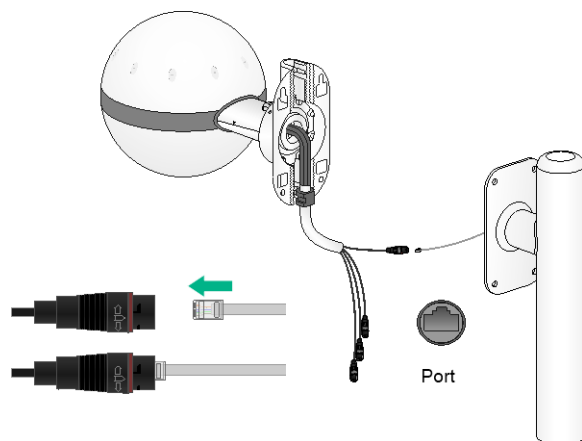
図2-25 カスタムポール



APをカスタムポールに取り付けるには、次の手順に従います。

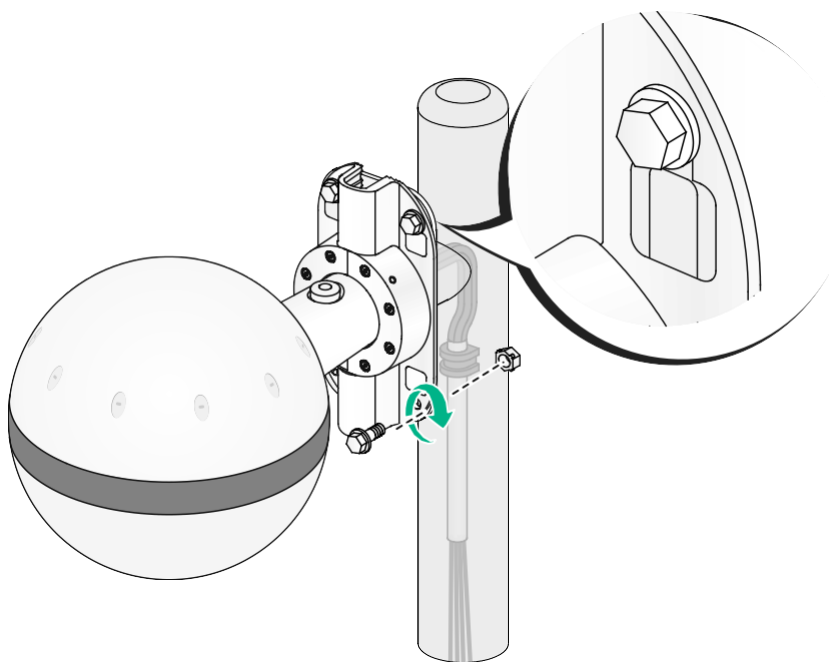
1. APのケーブルをポールからイーサネットケーブルに接続し、ポールにケーブルを差し込みます。

図2-26 ケーブルの接続



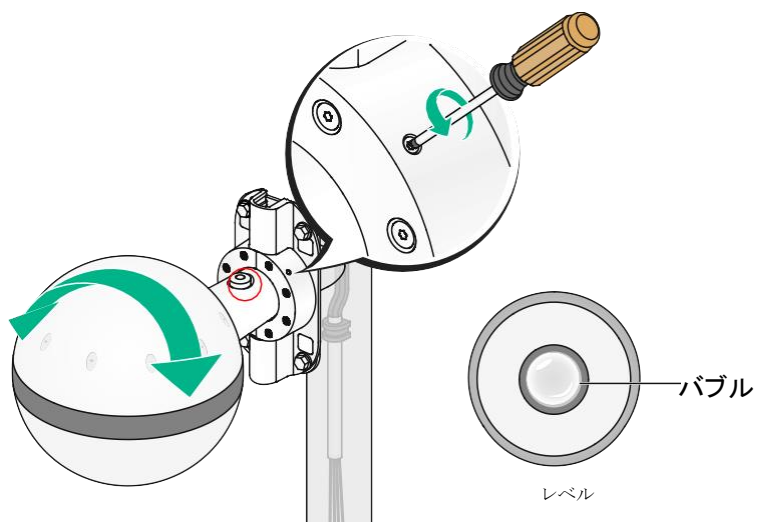
2. ポール取り付けブラケットの上部にある取り付け穴に、2本の六角ネジを差し込みます。ネジを完全に締めないで、APを固定するためのスペースを確保してください。
3. キー穴のスロットと六角ネジの位置を合わせてAPを支柱取り付けブラケットに吊り下げ、ネジを締めます。
4. 他の2本のM8六角ネジをAPベース下部の取り付け穴に挿入し、ネジを締めてAPを柱取り付けブラケットに固定します。

図2-27 APの固定



5. 図2-28の1で示すように、T8トルクスドライバーを使用してベースの2本のネジを緩め、APが回転できるようにします。
6. レベル内の通芯記号が中央に来るまでAPを回転および調整します。
7. ベースの2本のネジを締めて、APの回転軸を固定します。

図2-28 APの調整



## 壁面へのAPの取り付け

APIには拡張ボルトは付属していません。必要に応じて自分で準備してください。APを壁に取り付けるには、次の手順に従います。

1. APベースの取り付け穴に基づいて、壁の取り付け穴にマークを付けます。  
APベースの取り付け穴の寸法を図2-29に示します。

図2-29 APベースの取り付け穴の寸法

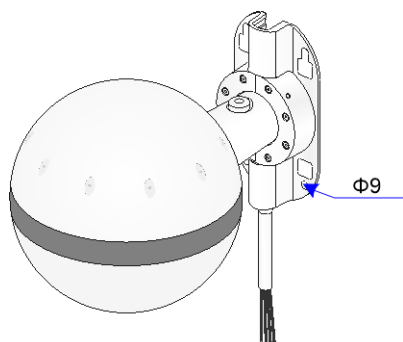
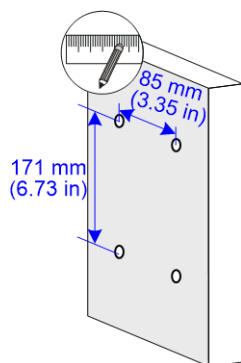
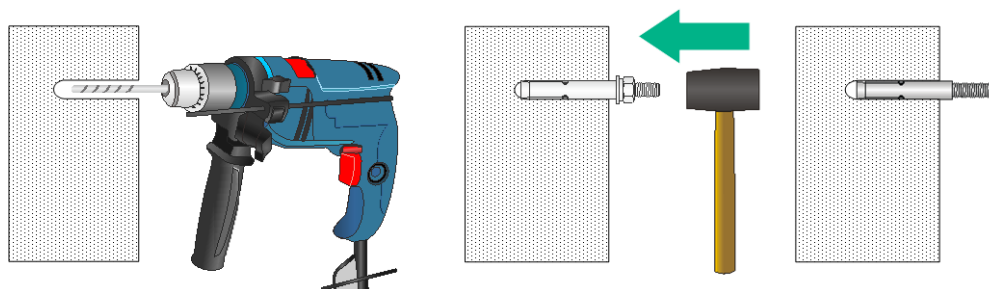


図2-30 壁の取り付け穴のマーキング



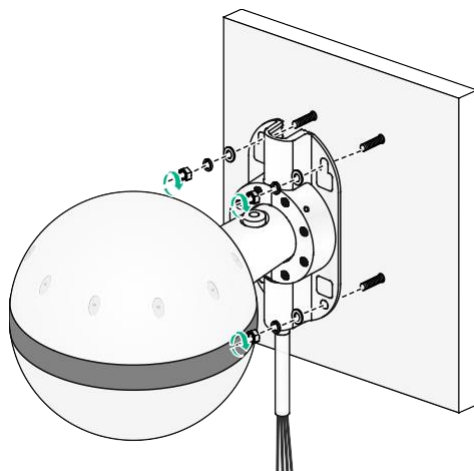
2. 図2-31に示すように、直径8 mm(0.32インチ)の穴を4箇所あけ、ゴムハンマーでエキスパンションボルトを打ち込み、ナットとワッシャーを外します。
  - 穴を開けるときは、ドリルビットを壁に対して垂直に保ち、ドリルハンドルを両手でしっかりと持ってください。
  - 丈夫で滑らかな壁に、パンチを使用して穴を作成し、ドリルビットの位置を確認します。
  - 4つの穴の深さは同じでなければなりません。

図2-31 ねじアンカーの壁への取り付け



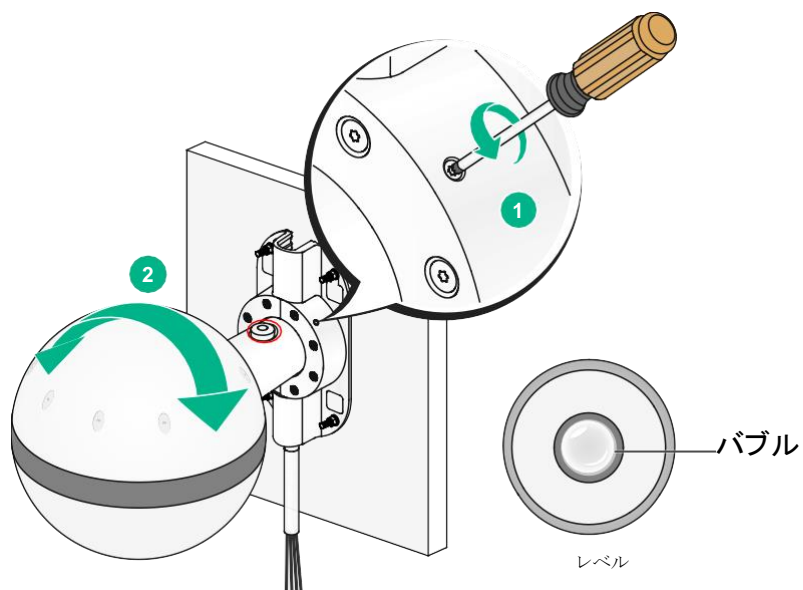
3. APをネジに掛けてから、ネジを締めます。

図2-32 APの壁面への取り付け



4. 図2-33の1で示すように、T8トルクスドライバーを使用してベースの2本のネジを緩め、APが回転できるようにします。
5. レベル内の通芯記号が中央に来るまでAPを回転および調整します。
6. ベースの2本のネジを締めて、APの回転軸を固定します。

図2-33 APの調整



# パワーインジェクタへのAPの接続

## △注意:

- APの電源を入れる前に、APが正しく取り付けられていることを確認します。
- パワーインジェクタは、スイッチ付近の風通しの良い場所に安定した場所に設置してください。パワーインジェクタを宙吊りにしたり、他の機器に取り付けたりしないでください。
- 複数のパワーインジェクタが1つの機器室または低電圧室に設置されている場合は、これらすべてのインジェクタに1つの電源ストリップを使用し、AC電源分電盤のスペアエアスイッチから電源ストリップにリード線を接続します。

パワーインジェクタを使用してAPに電力を供給できます。パワーインジェクタが接続するスイッチは、PoE対応である必要はありません。

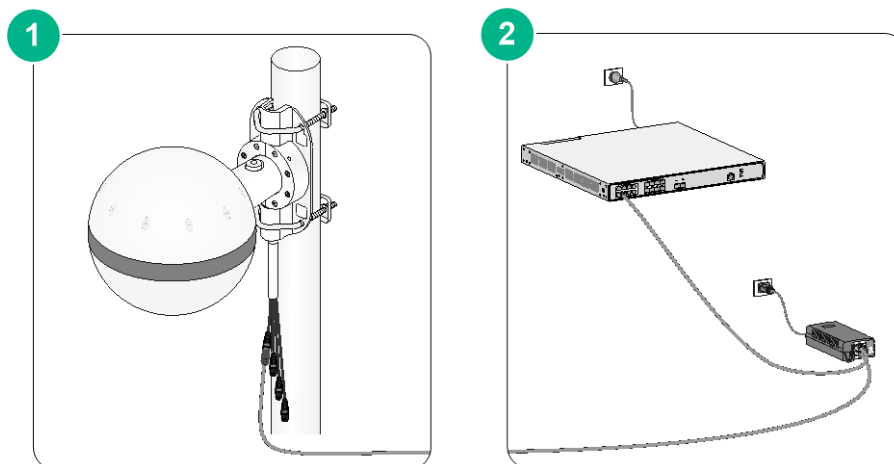
## 2つの銅線アップリンクポートを使用したパワーインジェクタへのAPの接続

デュアルポートH3CパワーインジェクタのPoE1ポートは、LAN1ポート経由でアップリンクネットワークに接続し、PoE2はLAN2経由でアップリンクネットワークに接続する必要があります。次の手順では、APを接続する例としてPoE1ポートを使用します。

イーサネットの銅線ポートを介してAPをパワーインジェクタおよびネットワークに接続するには、次の手順を実行します。

1. インジェクタの電源コードをAC電源に接続します。
2. インジェクタのPoE1ポートをAPの10 GEポートに接続します。
3. インジェクタのLAN1ポートをスイッチまたはアクセスコントローラに接続します。

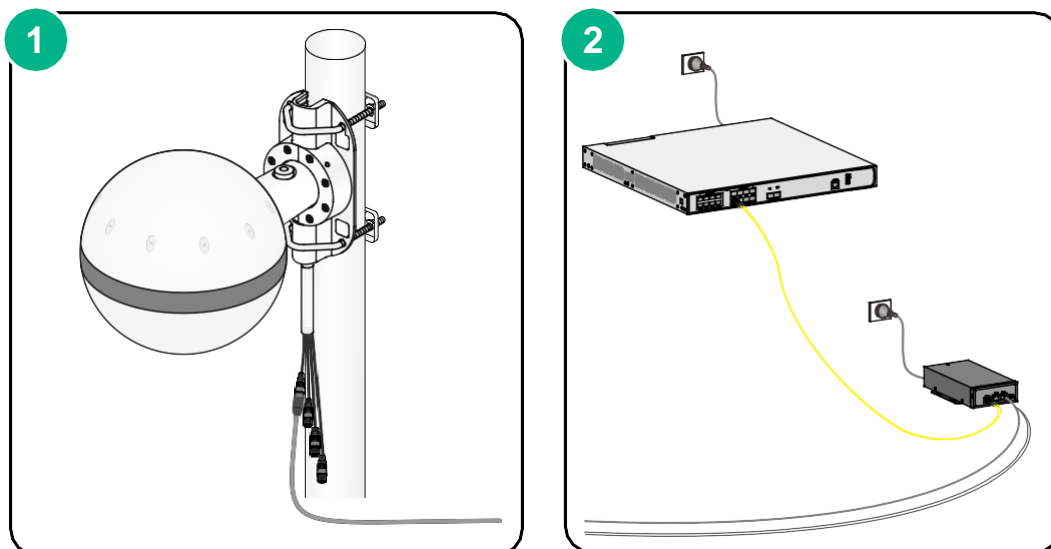
図2-34 2つの銅線アップリンクポートを使用したパワーインジェクタへのAPの接続



## ファイバアップリンクポートを使用したパワーインジェクタへのAPの接続

1. インジェクタの電源コードをAC電源に接続します。
2. インジェクタのPoEポートをAPの10 GEポートに接続します。
3. インジェクタのSFPポートをイーサネットスイッチまたはアクセスコントローラに接続します。

図2-35 ファイバアップリンクポートを使用したパワーインジェクタへのAPの接続



## ケーブルのラベル付け

ケーブルを接続したら、各ケーブルにラベルを付けます。これは、将来のメンテナンスのためのベストプラクティスです。

- ケーブルの両端と一定の距離ごとにラベルを付けます。
- ケーブルフラグまたはケーブルスリーブを使用して、アンテナケーブルおよびイーサネットケーブルにラベルを付けます。ケーブルフラグを使用して、ファイバケーブルにラベルを付けます。
- 透明な内容の防水ラベルを使用し、ラベルが直接見える場所に貼付してください。
- 屋外ラベルのシールには、透明な防水テープを使用します。

## 設置の確認

### △注意:

APを屋外で使用する場合は、屋外専用の防水ネットワークケーブルを使用し、ネットワークケーブルで接続されたエンクロージャポートに防水処理を施してください。

設置が完了したら、APの電源を入れる前に、次の項目を確認します。

- 電源がAPの電源仕様を満たしている。
- APは確実に接地されています。
- Ethernetケーブルが正しく接続されている。
- ケーブルは正しくラベル付けされている。
- APの未使用ポートは、防水プラグで密閉されています。



# APの電源投入

## ①重要:

APの電源を入れる前に、すべてのケーブルが正しく接続されており、APが電源に正しく接続されていることを確認します。

外部電源をオンにし、APのLEDを調べてAPが正常に動作していることを確認します。LEDの詳細については、「付録B LEDとポート」を参照してください。

## APのネットワークへの接続

すべてのAP設定はACで設定されます。APのネットワーク接続を確認するには、ACでdisplay wlan ap allコマンドを実行します。APのステータスがR/Mの場合、APはネットワークに接続されています。

```
<AC> display wlan ap all
Total number of APs: 1
Total number of connected APs: 1
Total number of connected manual APs: 1
Total number of connected auto APs: 0
Total number of connected common APs: 1
Total number of connected WTUs: 0
Total number of inside APs: 0
Maximum supported APs: 3072
Remaining APs: 3071
Total AP licenses: 128
Local AP licenses: 128
Server AP licenses: 0
Remaining local AP licenses: 127
Sync AP licenses: 0
```

### AP information

State : I = Idle, J = Join, JA = JoinAck, IL = ImageLoad  
C = Config, DC = DataCheck, R = Run M = Master, B = Backup

AP name	APID	State	Model	Serial ID
ap1	1	R/M	WA6630X	219801A24G8199E00001

# 3 付録A 技術仕様

表3-1 技術仕様

項目	仕様
寸法(H×W×D)	394×260×260 mm(15.51×10.24×10.24インチ)
重量	4 kg(8.82ポンド)
システムの消費電力	10W～48.6W
IEEE標準	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax

❗重要:

製品コードがEWP-WA6630X-JP-FITのAPは、5.15～5.25 GHzの周波数帯域で動作するように設定されている場合、屋内にだけ設置できます。

# 4 付録B LEDとポート

## LED

表4-1 LEDの説明

LED	ステータス	説明	
H3C	消灯	電源が供給されていないか、CLIからLEDが消灯している。	
	黄	常時オン	APが初期化中であるか、初期化例外が発生しました。
		1 Hzで点滅	無線カードが検出されませんでした。
		2 Hzで点滅	イーサネットインターフェイスはダウンしており、メッシュリンクは確立されていません。
	緑	常時オン	APはACに登録されていますが、関連付けられたクライアントがありません。
		0.5 Hzで点滅	APは起動していますが、どのACにも登録されていません。
		1 Hzで点滅	クライアントが関連付けられているのは2.4G無線だけです。
		2 Hzで点滅	APがイメージをアップグレードしています。
	青	1 Hzで点滅	クライアントが関連付けられているのは5G無線だけです。
		1 Hzで緑と青を交互に繰り返す	2.4G無線と5G無線の両方にクライアントが関連付けられています。

## ポート

APには1つのポートしかありません。APに付属のオールインワンケーブルを接続できます。All-in-oneケーブルには次のポートがあり、各ケーブルに1つのポートがあり、ケーブル長の昇順に並んでいます。

- 10GE/PoE++ポート
- GE1ポート
- GE2/PSEポート
- コンソールポート

表4-2 ポートの説明

ポート	標準とプロトコル	説明
10GE/PoE++	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IEEE802.3</li> <li>• IEEE802.3u</li> <li>• IEEE802.3ab</li> <li>• IEEE802.3bz</li> <li>• IEEE802.3an</li> <li>• IEEE802.3bt</li> </ul>	<p>インターネットまたはMANアクセス用のアップリンクデバイスにAPを接続するために使用します。また、ダウンリンクデバイスにPoE電力を供給することもできます。</p> <p>MAPファイルではインターフェイス番号XGE1/0/1、ACでの設定ではTen-GigabitEthernet 1で表されます。</p>

ポート	標準とプロトコル	説明
GE1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IEEE802.3</li> <li>• IEEE802.3i</li> <li>• IEEE802.3u</li> <li>• IEEE802.3ab</li> </ul>	<p>インターネットまたはMANアクセス用のアップリンクデバイスにAPを接続するために使用します。また、ダウンリンクデバイスにPoE電力を供給することもできます。</p> <p>MAPファイルではインターフェイス番号GE1/0/1で表され、ACでの設定ではGigabitEthernet 1で表されます。</p>
GE2/PSE	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IEEE802.3</li> <li>• IEEE802.3i</li> <li>• IEEE802.3u</li> <li>• IEEE802.3ab</li> </ul>	<p>インターネットまたはMANアクセス用のアップリンクデバイスにAPを接続するために使用します。また、ダウンリンクデバイスにPoE電力を供給することもできます。</p> <p>MAPファイルではインターフェイス番号GE1/0/2で表され、ACでの設定ではGigabitEthernet 2で表されます。</p>
コンソールポート	RS/EIA-232	エンジニアがデバイスの設定と管理にのみ使用します。